

朝鮮科学史における近世

— 洪大容・カント・志筑忠雄の自然哲学的宇宙論 —

任正懨著

2011年10月刊行

▶ A 5 判・288頁／定価 6,300円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1587-4

- ◆ 遠くギリシャの哲人たちから、デカルト、ニュートン……人間はいつの時代も宇宙について思いをめぐらし、様々に論じてきた。18世紀ドイツにおけるカントも例外ではない。そしてまさに同時期に朝鮮でも、宇宙の構造と生成について論じた学者がいた。それが洪大容である。
- ◆ 本書では洪大容の無限宇宙論の、宇宙論発展史における意味や朝鮮科学史および18世紀自然科学における位置を検討することによって、洋の東西の宇宙論の本質を解き明かしていく。
- ◆ 付録として洪大容著『鑿山問答』の原文と日本語訳を収載。

◆ 内容 ◆

第一章 科学史における近世——朝鮮と日本の比較検討——
近世の概念
近世科学技術史の特徴
実学の形成と展開

第二章 学としての朝鮮実学の形成について
朝鮮実学研究の意義
日本における朝鮮実学研究の検討

第三章 湛軒・洪大容の地転説と『鑿山問答』
南北朝鮮における研究
日本における研究
洪大容の略歴
『湛軒書』の編目と『鑿山問答』の基本内容

第四章 「天円地方」説から無限宇宙論へ
——朝鮮における独自の宇宙論の発展とその終焉——
朝鮮の伝統的宇宙観
西洋の宇宙論
地球説の受容
金錫文の象数学的宇宙論
洪大容の無限宇宙論
洪大容以降の宇宙論



洪大容の肖像

第五章 朝鮮前期における気一元論および
象数学的宇宙論の展開について

宋代宇宙論の伝来
『花潭集』における宇宙論
張頤光の宇宙論

第六章 カント『天界の一般自然史と理論』の
検討とその科学史的評価

時代背景とその自然観
『天界論』の基本内容
カント宇宙論の特徴と基本性格
カントと洪大容の宇宙論の比較検討

第七章 志筑忠雄『混沌分判図説』の検討とその科学史的評価
『曆象新書』の性格
『混沌分判図説』の検討
志筑忠雄の宇宙論の性格と問題点
洪大容の宇宙論との比較

付録『鑿山問答』——原文と訳文——

イム・ジョンヒョク…1955年生まれ。1978年朝鮮大学校理学部物理学科卒業。1985年東京都立大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。現在、朝鮮大学校理工学部教授。

【主要著作】『実学史研究8』（共著、思文閣出版、1992）、『朝鮮の科学と技術』（明石書店、1993）、『朝鮮科学文化史へのアプローチ』（明石書店、1995）、『現代朝鮮の科学者たち』（彩流社、1997）、『朝鮮科学技術史研究——李朝時代の諸問題——』（皓星社、2001）、『朝鮮近代科学技術史研究——開化期・植民地期の諸問題——』（皓星社、2010）など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	朝鮮科学史における近世		本体6,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1587-4
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	☐ 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) ☐ 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				
					書店番線印

一八世紀日本の文化状況と国際環境

笠谷和比古編

日本の18世紀の文化的状況はいかに形成され、それらは東アジア世界、また西洋世界までふくめたグローバルな環境下で、いかに影響を受けつつ独自の展開を示したか。多角的にアプローチした国際日本文化研究センターでの共同研究の成果23篇。

▶A5判・582頁／定価 8,925円

ISBN978-4-7842-1580-5

東アジアの本草と博物学の世界 [全2冊]

山田慶兒編

【上巻】本草における分類の思想／幕府典薬頭の手記に見える本草／秘伝花鏡小考／十八世紀の植物写生／江戸時代動物図譜における転写ほか 【下巻】徳川吉宗の享保改革と本草／享保改革期の朝鮮薬材調査／イスラム圏の香料薬種／小野蘭山本草講義本編年放ほか

▶A5判・平均370頁／定価(各) 7,875円 ISBN4-7842-0883-6・-0885-2

※明朝体の歴史

竹村真一著

中国明時代に生まれ、黄檗山万福寺開山中国僧隠元や一切経の開版を成した鉄眼などを経て日本にももたらされた明朝体。その発生と変遷からわが国への伝来と定着の過程を明らかにし、活字と印刷文化の将来を見つめ直したユニークな文字文化史。

▶A5判・240頁／定価 2,415円

ISBN4-7842-0447-4

佐久間象山と科学技術

東徹著

これまで科学者としての象山像については重要視されず、未解明の部分が多かった。象山や松代藩が購入した膨大な蘭書を博覧し、象山の「知識」と「実践」をめぐる問題について具体的に分析。幕末における科学技術の受容と水準を解明する。

▶A5判・283頁／定価 7,980円

ISBN4-7842-1101-2

※在村知識人の儒学

川村馨著

近世後期の在村知識人の姿を具体的な事例によってその諸相をとりあげ、民衆の儒学が教育の近代化とどう関わっていたかを探る。

【内容】民衆儒学と教育近代化／幕末維新期の民衆における漢学教育／儒学と農業／漢学教養の形成／儒学と救民行為／儒学の主体形成 他

▶A5判・278頁／定価 6,720円

ISBN4-7842-0912-3

在村蘭学の展開

田崎哲郎編

【内容】在村の蘭学と地域医療の近代化(青木歳幸)／飯沼塾とその門人の動向(遠藤正治)／美作在村蘭学概論(下山純正)／下野における蘭学の系譜(菊地卓)／新潟県における洋学の系譜(蒲原宏)／明治前期地方医師の概況(田崎哲郎)／蘭馨堂門人・鳥海松亭(平野満)

▶A5判・330頁／定価 6,090円

ISBN4-7842-0701-5

洋学史論考

佐藤昌介著

思文閣史学叢書

明治維新の胎動を準備した大槻玄沢・高野長英・小関三英・福沢諭吉・渡辺華山らの諸業績の分析を通して洋学の受容と発展を解明し、あわせて近代化に果した軍事の科学化と軍制改革・軍楽などを論じる著者最新の論集。

▶A5判・410頁／定価 8,190円

ISBN4-7842-0782-1

シーボルトが蒐集したシダ標本

加藤信重著

オランダ国立植物学標本館ライデン大学分館所蔵のシーボルトコレクション約1,000点のシダ標本を、残されているメモ・添付ラベルから、採集地・採集者など蒐集の経緯や事情を明らかにする。標本642点・1009カットのカラー画像を収録したDVDを付録として付す。

▶A5判・388頁／定価 7,350円

ISBN978-4-7842-1550-8

近世東アジア海域の文化交渉

松浦章著

海によって隔てられた東アジア諸地域間の交流は、波濤を越えた船の往来によって支えられていた。本書は清代帆船やその後登場した汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々の交流の諸相を明らかにする。

▶A5判・472頁／定価 9,450円

ISBN978-4-7842-1538-6

本草学と洋学 小野蘭山学統の研究

遠藤正治著

日本本草学の頂点である小野蘭山の学統を考察の対象にし、洋学の影響を受け国際的視野を備えた博物学的な本草研究の実態を探り、わが国最初の近代的植物図譜『草木図説』誕生の環境を明らかにする。

第2回徳川賞受賞・第16回矢数医史学賞受賞

▶A5判・400頁／定価 7,560円

ISBN4-7842-1150-0

絶対透明の探求 遠藤高環著『写法新術』の研究

尾鍋智子著

18世紀後半から幕末にかけての視覚論についての時代状況、遠藤の加賀藩における知的交流とその思想を論じた上で、『写法新術』の内容を分析し、遠藤の倫理観、写法の理論と視覚論の関係に注目して遠藤の視覚論を明らかにする。

▶A5判・310頁／定価 6,090円

ISBN4-7842-1294-9

鉄砲 伝来とその影響

洞富雄著

『鉄砲伝来記』(1939)以来半世紀、日本史家としての関心から鉄砲に取り組んできた著者の総決算ともいえる力作。【内容】歴史を変えた鉄砲の伝来／種子島銃製造法の伝播／鉄砲の起源に関する諸問題／秀吉の朝鮮侵略・維新内乱と鉄砲／二人の特異な砲術家

▶A5判変・530頁／定価 10,290円

ISBN4-7842-0657-4

在村蘭学の研究

青木歳幸著

信濃をフィールドにして、医師による医療のひろがり、医師の組織化、医療の近代化等の医療をめぐる歴史的变化に、在村蘭学がどのように関わっていたのか、江戸時代の地域社会のなかでどのような歴史的展開をたどったか、とくに庶民生活とどう関わっていたかを明かす。

▶A5判・460頁／定価 9,030円

ISBN4-7842-0963-8

幕末期長州藩洋学史の研究

小川亜弥子著

幕末維新期の変革に洋学が如何なる役割を果たしたかを射程にすえ、この変革の重要な担い手となった長州藩の洋学の実態に、軍事科学化という側面から迫り、また洋学史的側面からのアプローチにより、長州藩明治維新史研究の空白を埋めることをも目指した意欲作。

▶A5判・284頁／定価 7,140円

ISBN4-7842-0967-0

※近代西洋文明との出会い 黎明期の西南雄藩

杉本勲編

佐賀藩を中心とした幕末期の西南雄藩と近代西洋文明との出会い、またその受容の歴史を、関連する諸側面から掘下げ、近代化の諸相を明らかにする。【内容】佐賀藩における西洋技術の受容／科学・技術教育の推進／西洋医学・博物学・蘭語学の展開／海外情報・文化受容の諸相

▶A5判・300頁／定価 4,830円

ISBN4-7842-0566-7

※牧野標本館所蔵のシーボルトコレクション

加藤信重著

シーボルトの死後、ロシアのマキシモヴィッチに売却された植物標本やその他の資料は、1963年ソビエトのコマロフ植物研究所からその一部が日本の東京都立大学牧野標本館に送られてきた。本書は、このコレクションを約10年間にわたって精査してきた成果。

▶A5判・294頁／定価 5,670円

ISBN4-7842-1165-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。